

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/01/31		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586019701	科目番号 / Subject code	05860197
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12511_005		
授業科目名 / Subject	現代の教養 (文化と社会) / Culture and Society (Literature Philosophy History and so on)		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	田口 由香, 工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	田口 由香		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	田口 由香		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	y.taguchi@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部 6 1 4 研究室		
担当教員TEL/Tel	095-819-2312		
担当教員オフィスアワー/Office hours			
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	日本近代史における国際環境を含む研究状況を踏まえた講義と史料解読を行う。日本の近代化に関する理解を深め、史料を活用する能力を養う。		
授業到達目標/Course goals	1) 日本の近代化における歴史的流れを理解し、説明できる。 2) 史料を解読し、活用することができる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	授業での提出物50%、小テスト50%で評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	参考文献等を活用し、理解を深めることが望ましい。		
キーワード/Key word	日本近代史、明治維新史、近代化、産業革命		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	資料を配布する。教科書は使用しない。参考文献等は授業の中で紹介する。		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.	日本近代史に関心を持ち、主体的に取り組むことができること。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	日本の近代化について、当時の史料から読み解いてみましょう。		
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
1	ガイダンス		
2	日本の近代化とは (産業革命)		

3	欧米諸国のアジア進出
4	攘夷とは
5	長州藩の攘夷とは（外国船砲撃）
6	長州藩の攘夷とは（密航留学）
7	下関戦争
8	イギリスから見た下関戦争
9	薩長同盟
10	幕長戦争 1
11	幕長戦争 2
12	王政復古
13	明治政府の諸改革
14	岩倉使節団
15	小テスト

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 4ク ォーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	金 / Fri 1, 金 / Fri 2
開講期間 / Class period	2018/11/27 ~ 2019/02/08		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586020101	科目番号 / Subject code	05860201
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12521_005		
授業科目名 / Subject	現代の教養 (自然の科学) / Natural Science		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟32 / RoomA-32		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	kudoh nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部本館406号室		
担当教員TEL/Tel	内線2329		
担当教員オフィスアワー/Office hours	授業直後の昼休み (事前または授業直後に予約があると確実)		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	<p>教養としての天文学を学びます。宇宙と自分とのつながりを認識し、自然との関わり力を培います。</p> <p>授業は基本的に教科書の内容に沿って行います。第1週は宇宙の全体像と宇宙を観るための手段について学びます。第2週では人類の抱いてきた宇宙観の歴史について概観します。第3週から第6週は宇宙の始まりから今日にいたる宇宙史の物語を時間順に追いかけていきます。第7週では生命の誕生や宇宙人について考え、最後の第8週にこれまでの内容をまとめて振り返ります。なお、教科書に不足している最新の内容は参考図書などを通して適宜補足します。</p> <p>授業中に教科書の巻末問題について考えます。授業時間に教科書を持参してください。授業中に考えた巻末問題などは小レポートにまとめて毎回期限までに提出します。また、授業全体を通して小テスト(基礎的知識の確認)を2回、演習課題(グラフ作成)を1回行います。提出された小レポートや演習課題の成果は、LACSを通じて受講生同士で互いに閲覧可能にする予定です。</p>		
授業到達目標/Course goals	宇宙誕生から現在にいたる宇宙史の物語を、地球や生命の起源と関連させて友人に熱く語るようになることが到達目標です。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力(1つ以上3つまで)/Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	<p>A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動 &lt;br&gt; / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over</p> <p>B. 多角的に考えるために他者と関わる活動 &lt;br&gt; / Activities involving others to think from various perspectives</p> <p>C. 技能修得のために実践する活動 &lt;br&gt; / Activities to practice for acquiring skills</p> <p>D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動 &lt;br&gt; / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems</p> <p>E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法 &lt;br&gt; / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above</p> <p>F. 教員からの講義のみで構成される &lt;br&gt; / It consists only of lectures from teachers</p>		
成績評価の方法・基準等/Grading	<p>100点満点の総合点で60点以上を合格とします。内訳は以下です。</p> <p>授業への積極的な貢献: 30点(授業中の質疑応答やLACSへの書き込みなど)</p> <p>小レポート(7回): 35点 (= 5点 x 7回)</p> <p>演習課題(1回): 5点 (= 5点 x 1回)</p> <p>基礎知識確認小テスト(2回): 30点 (=15点 x 2回)</p>		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容/Preparation & Review	授業前に教科書の該当箇所を読んで予習し、授業後は教科書を読み返して復習してください。授業中に考えた教科書の巻末問題や演習課題を、授業後に小レポートとして提出してください。		
キーワード/Key word	宇宙, 星, 地球, 宇宙人		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	<p>教科書: 「100億年を翔ける宇宙(新版)」, 加藤万里子[著], 恒星社厚生閣(2,200円+税金)</p> <p>参考図書: 「宇宙の誕生と終焉」, 松原隆彦 著, サイエンス・アイ新書 「地球外生命体」, 井田茂 著, マイナビ新書 「古事記と宇宙 [DVD]」, 喜多郎 [音楽], 柴田一成 [企画], クラウン徳間ミュージック</p>		
受講要件(履修条件)/Prerequisites, etc.			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考（URL）/Remarks(URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	宇宙を知ることは、自分を知ることにつながります。宗教や哲学ではなく、自然科学として。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1週：2校時分	きらびやかな宇宙のすがた（教科書：第1章）
第2週：2校時分	昔の人々の宇宙（教科書：第2章）
第3週：2校時分	宇宙のはじめ（教科書：第3章） 銀河ができる（教科書：第4章）
第4週：2校時分	[小テスト] と解答解説 星の誕生から死まで（教科書：第5章前半：星の分類）
第5週：2校時分	[演習] 星の分類図（HR図）の作成 星の誕生から死まで（教科書：第5章中盤：星の一生）
第6週：2校時分	星の誕生から死まで（教科書：第5章後半：ブラックホール、連星系） 太陽系ができて生命が生まれた（教科書：第6章前半：太陽系と惑星）
第7週：2校時分	太陽系ができて生命が生まれた（教科書：第6章後半：地球、生命、宇宙人）
第8週：1校時分	まとめ [小テスト] と解答解説 振り返り

学期 / Semester	2018年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	木 / Thu 1, 木 / Thu 2
開講期間 / Class period	2018/09/28 ~ 2018/11/22		
必修選択 / Required/Elective class	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (general/admission/overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20180586020501	科目番号 / Subject code	05860205
科目ナンバリングコード / Numbering Code	GEMA 12531_005		
授業科目名 / Subject	現代の教養 (芸術の世界) / The World of Art		
編集担当教員 / Professor in charge of putting together the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou, 工藤 哲洋 / Takahiro Kudoh		
授業担当教員名 (科目責任者) / Professor in charge of the subject	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Professor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Class type	全学モジュール 科目		
対象年次 / Year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Class Form	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟22 / RoomA-22		
対象学生 (クラス等) / Target students			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	mikami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Instructor office	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095 - 819 - 2344		
担当教員オフィスアワー/Office hours	月曜日3限		
授業の概要及び位置づけ/Course overview and relationship to other subjects	音楽基礎理論を通して、楽譜の仕組みを理解し教養の拡充に努める。		
授業到達目標/Course goals	1、音楽理論の問題、いわゆる楽典の比較的難易度の低い問題を解くことができるようになる。 2、調性などの理解を深め、読譜力を高める。 3、コードネームを学習することで、その仕組みが理解できるようになる。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけ て欲しい力 (1つ以上3つまで) /Ability other than knowledge and skills acquired mainly through lessons (1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Lesson method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Grading	LACSに1500点分の問題を用意し、各講義において授業をした後問題を解く。この点数の積み重ねに よって60%以上を段階的に評価する。		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Class content and format	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	復習課題をLACSのテストにて提示する。		
キーワード/Key word	音楽理論、楽典		
教科書・教材・参考書/Textbook, Teaching material, and Reference book	楽典 理論と実習 石桁真礼生他著 音楽之友社 音楽痛論 教育芸術社 わかりやすい楽典 川辺 真著 音楽之友社		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites, etc.			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)			
備考 (URL) /Remarks(URL)			
学生へのメッセージ/Message for students			
授業計画詳細 / Course Schedule			
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents		
	オリエンテーションと音名 ドイツ語と日本語による音名を学習する。		
	音名と音符について ドイツ語と日本語による音名と音符の符割などを学習する。 リズムの基本構造を理解する。		
	音符と楽譜の読み方 変化記号の読み方の基本を中心に音名を抱き合わせで学習する。		

	音程について 音程の初歩について学習する。 数字音程のみならず、長・短などの音程幅について学習する。
	音程について(2) 少し幅の広い音程を学習する。
	音程について(3) 減、増を含む複雑な音程を学習する。
	長音階と調について 長音階の構造と長調について学習する。
	音階音の名称と音階固有音について 音階固有音は環境音であることを理解し、音階音の名称(主音、属音など)を学習する。
	短音階と短調 3つの短音階の種類を学習し、短調について学習する。
	調関係と調の判定 関係調について学習し、調号を使わない簡単な音列の調性を判定する方法を学習する。
	より高度な調の判定 調号を使わない旋律の調性の判定を行う。
	三和音について 4種類の三和音の構造を学習する。
	各調と T~ Zの三和音について 和音につくローマ数字について学習し、T度の和音などの識別を学習する。
	七の和音 七の和音についてその構造を学習する。 転回形を学習する。
	コードネームについて 主にジャズやポピュラー音楽において使用されるコードネームの基本原則を学習する。